令和５年度

職員自己評価　放課後等デイサービス評価表　事業所名:えがおのサロン

	No	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見等
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			重症心身障害児や医療ケア児が利用する事業所を増やしたため、余裕のあるスペースで活動ができるようになりました。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用者数に応じ、各種の資格を有する職員を適切に配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設入口にスロープや手すりを設置するなど、利用者の安全確保とバリアフリーに配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			運営会議や行事企画会議などを定期的に開催し、情報共有と職員の経営参画・業務改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートの結果を全職員で共有し、保護者の意見を真摯に受け止め、業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者及び職員の評価結果を踏まえて事業所として再点検するとともに、施設のホームページに結果を公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による評価につきましては、法人内で順次検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			虐待の防止や職員の資質向上のための研修会を毎月実施しています。また、外部研修にも積極的に参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			野中式アセスメントシートを改良し、子どもの特性を多面的に理解した上で、そのニーズに応じた計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			WISCⅣの検査キット備え、公認心理師の資格をもつ職員が中心になり、子どもの行動観察等アセスメントに基づいた支援を心がけています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			特別支援学校や保育園の取組を参考にしたり、季節に合わせた行事を取り入れるなど、多様な活動プログラムを職員で話し合って作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			特別支援学校や保育園の取組を参考にして多様な活動プログラムを作成し、活動プログラムが固定化しないように工夫をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			放課後や休日、長期休業など、施設利用時間に応じたプログラムを作成し、きめ細かな支援を行っています。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一人一人の子どもの特性に合わせ、個別活動と集団活動をバランスよく配分した計画作りに努めています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に園長と職員が子どもの状況を報告し、留意点等を確認した上で、その日の支援内容を柔軟に変更して対応しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後には、園長を交えて職員間で反省を行うとともに、支援の方針や改善点について共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援については、個人記録に必ず記載し、園長が点検して支援の検証と改善に努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			児童発達支援管理責任者が定期的にモニタリングを行い、中・長期的な計画の見直しを随時行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			自立支援と日常生活の充実のための支援を中心に創作活動など他の活動を組み合わせたきめ細かな支援を心がけています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者など子どもの支援計画作成に携わる者が参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			特別支援学校や市立小中学校と連絡を密にとり、行事予定表を提供してもらうなど、送迎時の連絡調整をきめ細かに行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			子どもの個人記録には、子どもの活動状況や日頃の様子、通院している医療機関、主治医、連絡先等を記載し、速やかに連絡がとれる体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援センターや保育所、幼稚園と情報共有に努め、児童の情報をしっかりと把握した上で、継続的な支援を心がけています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業後も卒業生とは定期的に連絡を取るとともに、事業所や就業先との連携を密にし、アフターフォローにも力を入れています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			市の児童発達支援センターの取組を情報提供してもらい、支援のあり方について改善に努めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		子どもたちの間で依然として様々な感染症が流行しており、感染症に弱い子どももいるので、放課後児童クラブ等との交流は控えています。今後を見通して、連携について模索してく予定です。

	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳やSNSでのやり取り、送迎時の保護者との会話、園長との相談等の機会において共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	○			施設の児童指導員等が子どもの対応について、保護者に対して丁寧に支援を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学時や利用契約時に丁寧に説明して理解を得るとともに、施設のホームページやお便りを通じて分かりやすい説明を心がけています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			園長や資格保持者を中心に子育ての相談に積極的に応じ、保護者への助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			定期的に保護者会を開催し、保護者とともに行事を企画したり、保護者同士の連携を支援しています。また、SNS等も活用して支援しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口と担当者を重要事項説明書に記載して周知するとともに、保護者や子どもからのからの要望や願いについては、迅速に対応するように努めています。また、改善が必要な点については速やかに対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			子どもたちの活動の状況を保護者に知らせるため、施設のお便りやSNS、ホームページを活用し、情報発信をしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の収集は必要最小限にとどめ、その扱いについても十分に注意しています。また、写真等の活用につては、事前に保護者から承諾を得ています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言語以外にもマカトンサインを活用したコミュニケーションなど、多様な意思疎通を行っています。また、保護者とはSNS等を活用した情報伝達も取り入れています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所の行事には、町内会長を始め、地域住民を招待するなど、地域に開かれた施設を目指しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			「感染症対応マニュアル」の整備など、緊急時の対応についてマニュアルを作成して職員間で共通理解を図っています。また、事業継続計画も作成し、研修や訓練を取り入れていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			緊急地震速報対応訓練、津波を想定した避難訓練など、消防署や防災士と連携した実践的な訓練を行っています。

	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員会議時の研修で、児童虐待防止について取り上げたり、外部研修に参加したりして、適切な対応がとれるように努めています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			他の通所者や職員に危機的な状況を及ぼす場合以外に身体拘束を行うことがないことをしっかりと共通理解しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			強度の食物アレルギーの子どもはいませんが、エピペンの使い方の研修等も計画しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例を職員間で共有し、事故防止に努めています。

※この自己評価の結果は、施設職員全体で行ったものです。